

演劇で

“じゅう”

を見つけよう

鳥の劇場

BIRD Theatre Company TOTTORI



『じゅう劇場版「銀河鉄道の夜」』

じゅう劇場参加者募集

障がいのある人とない人がいっしょにお芝居を作り、県内外で上演します。

2017年度の活動に向けて、出演者とスタッフを募集します。

じゅう劇場について

じゅう劇場は、特定非営利活動法人鳥の劇場プロデュースのもと、2013年8月に活動を開始した劇団です。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常では隠れがちなそれぞれの豊かさを発見し、観客と分かち合うことを目指しています。人間の「じゅう」について考えるためにこの名前にしました。継続的に作品を作り、鳥取県内や県外で作品を発表しています。

これまでの取り組み

2013年に立ち上げ、「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」(2014年)で『三人姉妹』(原作: A. チューホフ)を上演。以降、毎年新作を発表しています。2015年度『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』(「鳥の演劇祭8」、「奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA 2015-2016 鹿の劇場」、米子市児童文化センター)。2016年度『じゅう劇場版「銀河鉄道の夜」』(「1人ひとりの可能性を活かす仕組みを考えるアート展 Action!」(大分)、「鳥の演劇祭9」、とりぎん文化会館、米子市文化ホール)。

【募集締切】 2017年4月30日(日)



平成29年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

「じゅう劇場」劇団員 募集要項(申込書)

- 【募集対象】** 基本的に鳥取県在住の方、あるいは鳥取県へ通勤や通学をしている方で、参加意欲のある方であればどなたでも。(年齢、性別、障がいの有無、障がいの種類や程度、舞台経験の有無は問いません。)
- 【募集内容】** 出演者またはスタッフ(大道具、衣装、参加者のサポート、運営の手伝いなど)
- 【申込条件】** 原則としてすべての稽古と公演に参加できること(本年は県内3ヶ所、国外1ヶ所の公演を予定)。
- 【活動予定】**
- ・稽古場所 鳥の劇場(〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1)
 - ※浜村駅から鳥の劇場までは送迎を行います。遠方の方もお気軽にご参加ください。
 - ※稽古や公演参加にかかる交通費等は規定によりお支払いします。
 - ・稽古予定 初回稽古は2017年5月23日(火)。以降、6月より毎週木曜日と金曜日を中心に定期的に行います。
 - ※稽古時間は1日3時間半程度。開始時間は参加者と相談の上、決定します。
- 【選考方法】** 応募者全員と面接を行います。面接時間は調整の上ご連絡致します。
- 面接日:2017年5月9日(火) 会場:鳥の劇場 ※都合が合わない方はご相談ください。
- ※お申し込み前に、稽古や公演の様子をご覧になりたい方のために、ドキュメンタリー映画『じゅう劇場の瞬き』を上映します。ぜひそちらをご鑑賞ください。 日時:4月23日(日)14:00 会場:とりぎん文化会館第1会議室
- 【募集締切】** 2017年4月30日(日)まで(必着)
- 【申込方法】** 下の申込書に必要事項を記入し、下記応募先へ郵送またはファックスしてください。
- 必要事項を電子メールで送っていただいても結構です。 ※いただいた個人情報は、本事業以外には使用しません。
- 【応募先および問合せ先】** 「じゅう劇場」募集係(担当:本多) 〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 鳥の劇場内
電話・ファックス:0857-84-3268 電子メール:info@birdtheatre.org



★「じゅう劇場の瞬き」巡回上映会開催のお知らせ★

「じゅう劇場の瞬き」は、映画監督山崎樹一郎氏によるドキュメンタリー作品です。2017年6月頃より鳥取県内各所での上映会の開催を予定しています。

— 申込書 —

フリガナ 氏名		女	年齢	歳 (年 月 日生)
		男	希望	出演者 ・ スタッフ
所属 (学校、施設等)				
住所	〒			
連絡先	電話 (自宅)	ファックス		
	(携帯)	電子メール		
鳥の劇場への 移動手段	自家用車・公共交通機関 [JR・バス / 区間 ~ まで]			
保護者・担当者	氏名	応募者との関係		
緊急連絡先	氏名	連絡先		
応募動機 自己PR				

鳥の劇場について

2006年に演出家・中島諒人を中心に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設へ手作りリノベーション。収容数200人の“劇場”と80人の“スタジオ”をもつ。劇団の運営する劇場として、現代劇の創作と上演を中心に、国内・海外の優れた舞台作品の招聘、舞台芸術家との交流、他芸術ジャンルとの交流、教育普及活動などを行っている。また2008年から、地域や行政との協働による演劇祭「鳥の演劇祭」を毎年9月に開催している。2011年度国際交流基金地球市民賞受賞。